

「ふるさと本庄とともに、未来をひらく15歳」を育てる

本庄市の小中一貫教育

児玉中学校区

「児玉を愛し 世のため後のため

未来をひらく15歳」を育てる取組

児玉中学校区では、めざす15歳像「児玉を愛し 世のため後のため 未来をひらく15歳」の実現に向け、小中・小小の交流活動と教員の乗り入れ授業を推進しています。

「**児玉を愛し**」地域の自然や支えてくれた人々への思いを大切にする言葉です。小小交流で進学先の友達と顔見知りになり、不登校の未然防止と地元への愛着を育てます。

「**世のため後のため**」塙保己一先生の志を前面に出す言葉です。小学生が調べたことを中学生に発表しアドバイスをもらう一方、中学生は小学生に無言膝付き清掃を教えるなど、双方向の交流を通じて自己有用感と学びへの意欲を高めています。

「**未来をひらく**」自分の力で進んでいってほしいという願いです。教員の乗り入れ授業で9年間の学びをつなぎ、学習のつまずきの早期解消と学力向上を目指しています。



清掃交流

児玉地区の4小学校の6年生と児玉中学校3年生がオンラインでつながり、清掃について交流しました。中学生に小学生から、たくさんの質問がありました。



中学生から小学生へ清掃について説明中

相互乗り入れ授業開始

小学校の先生が中学生に授業を、中学校の先生が小学生に授業をする相互乗り入れ授業がスタートしました。お互いの学校の良さを取り入れた教育活動を進めていきます。



中学校社会科の先生が小学校で社会科の授業をしている様子

小6相互で学習交流会

児玉小、金屋小、秋平小、共和小で書籍等を活用して調べた塙保己一先生の年代ごとの人物相関図の発表を行いました。どの発表も塙保己一先生と周囲の人々との関わりがよく伝わる内容でした。今後は、自分の相関図も作成し、比較することで自分も多くの人に支えられていることに気づき、感謝の気持ちを作文にしていきます。



相互で交流している様子